

おもしろ教室だより

令和4年6月発行
No.142
三川少年少女
発明クラブ事務局

令和4年度 開講式



5月19日(木)午後6時30分から、テオトルで開講式を行いました。今年度は町内の3つの小学校に通う4～6年生までの元気な17人が入会してくれました。新入クラブ員の10人は緊張していた様子でしたが、「工作が大好きです!」「おもしろいクラブだと聞いていて前から入りたいと思っていた」「自動車解体体験が楽しみ」などの想いを発表して活動をスタートさせました。



開講式後の親子工作ではカッターの使い方や、両面テープの種類と用途について学びながら「ポンポンカーリング」を作りました。袋の部分を切り抜いても空気が入って浮く仕組みを理解して、実際に遊んでみました。すーっとすべらせて、カーリングのように的の中でピタッと停止させるのがなかなか難しく、夢中になって何回もくりかえし挑戦していました。

これから1年間、自分で考え、必要な時は指導員の先生方にアドバイスをいただきながら、楽しく作品づくりに取り組みます。活動日は、お家の方も自由に見学・ご参加ください。時間内の出入りは自由です。(移動は自家用車をお願いします。)



体験学習 ドローンでおそぼう！



5月28日(土)テオトルで、ドローンを使った体験学習を行いました。はじめにドローンの社会的活用や飛行原理などを写真で見ながら学びました。その後、2人組になって小型のドローンを実際に飛行させてみると、最初はおそるおそる操縦していましたが、すぐに理解し宙返りしたり障害物の輪をくぐり抜けたりして、バッテリーがなくなるまで楽しんでいました。この体験が“ひらめきの種”になったかな？



自動車解体体験



6月25日(土)に栃山形県自動車販売店リサイクルセンターさんの協力で鶴岡クラブと合同の体験学習を行いました。しっかりとヘルメットをかぶったクラブ員たちは、解体して外したエンジンなど再利用できるものは海外に輸出しているという話を聞き、今日積み込んで酒田港に運ぶ予定のコンテナの内部を見せてもらいました。

いよいよ楽しみにしていた解体にとりかかると、さまざまな工具を手に取り、ネジやボルトを力いっぱい回していました。三川クラブ用に用意していただいた軽自動車2台はみるみるうちにバンパーやヘッドライトなどが取り外されて、センター長さんから「こんなに大量の部品を外して、過去最高の解体だ！」とほめられていました。

この体験を通して、自動車がどんな部品からできているか、どんな構造をしているかを自分の目で確かめることができました。最後は、手洗いの時に工業用のハンドソープの感触に驚き、みんな思わず声を出していました。



この活動の様子は「山形新聞」「荘内日報」「コミュニティ新聞」に掲載されました。